

# 平成12年度 和歌山県文化功労賞

はし づめ やす お  
橋 爪 靖 雄

住 所：和歌山県海南市

出 身 地：和歌山県海南市

生 年：昭和10年

## ◎業績及び経歴

昭和10年に海南市で生まれた氏は、同じ漆芸家であった父、義雄氏の影響を受け、23歳の時に自分も漆芸家の道を歩むことを決意、上京して漆芸家・佐治賢使氏のもとで下地から蒔絵、螺鈿、平脱・平文などの伝統的な手法を学んだ。

昭和37年に帰郷し、漆工芸制作に入る。同年第5回日展に初入選し、以降入選を重ね、昭和40年には郷土漆工芸の発展を目指し、若手漆芸家による「グループ漆」の創設に貢献、昭和54年度和歌山県文化奨励賞を受賞した。

氏の作品は、蒔絵、蒔醬、螺鈿などの技法を組み合わせ、伝統の蒔絵構図を生かしつつ洋画風の図柄を取り入れ、デザインにコンピューターを使うなど、その作風は自然愛に満ち詩情豊かで、伝統を踏まえた上で進取を備えた漆工芸品として全国的にも評価が高く、昭和59年には、第16回日展において工芸部門では県下初の特選を受賞した。

また、積極的に自身の芸術活動を展開し、漆器の日本三大産地の一つである海南市出身の漆芸家として、黒江塗りの振興普及に尽力している。

郷土を心から愛し、「先人の誇りを一人でも多くの人に継承してもらいたい」という氏の本県の文化の振興に対する功績は多大である。

代表作として、和歌山県民文化会館2階ロビー、成田市・八富成田斎場ロビー、最近では海南市保健福祉センターふれあいホール、アバローム紀の国エントランスホールなどの漆壁画がある。

## ■現在

和歌山県美術家協会理事  
和歌山県美術展覧会審査員  
海南市美術展覧会審査員  
日工会評議員・審査員  
創工会会員  
日展会友

## ■主な表彰歴等

昭和55年(昭和54年度)  
和歌山県文化奨励賞  
昭和61年 海南市文化賞  
平成4年 地域文化功労者文部大臣表彰